

2005 年度中間調査報告

2005/9/28

調査期間 2005/9/18(日)～26(月)
担 当 青沼理事、ヌルブ・ラマ理事、大谷

総 括 カトマンドゥ、ルンビニ、タンセンとも治安状況において不安に感ずる事はなく、警備体制も特段に厳しいとは感じられなかった。タンセンでは1年半振りの訪問に多くの機会に歓迎され、文通による交流の必要性を改めて感じた。調査項目も多岐にわたったが、ほぼ全ての調査項目の確認、方向付けのための情報を得ることができた。

調査項目

a カトマンドゥ

・現地治安状況把握

在ネパール日本大使館 富田一等書記官と面談

・治安状況は7月末から8月にかけてマオイストの教育プログラムが組まれ緊張が高まった。9月から3ヵ月間の停戦声明が出ているが、ローカルに伝わっていません。軍は停戦を受け容れておらず、日中の通行とプログラムの確認に徹して欲しい。

タンセンへの交通は遮断されていたが現在は通行可能であるが、事前にブトワールでの確認必要。

政党の王への反感など情勢見通しは難しい情況。

・現地口座の開設

・当会の活動は法的には違法であり、合法的にやるように改めた方がよい。NGO-JICA ジャパン・デスク(ネパール)のコーディネーター田中真理子氏の紹介を受ける。

・来年は日ネ交流50年に当りミカの会設立10年にはよい年だ。

・中古品の持ち込みは医療品のみ認可されるが計測器は?

・パドゥマ・カニヤ・ビデヤシマ女子校

・講堂雨漏り屋根の屋上は予想外に広く、1フロアーを増やしたい考え。

ラマ氏見積り概算700～800万Rsか? 屋外トイレの建替えも希望も。

・図書・書棚の寄贈、奨学金に感謝している。ミカの会に会えるのが嬉しい。事務用パソコン(概算10万円)が欲しい。

・カトマンドゥ日本語学校

・創立40周年式典 2006年11月 1日目弁論大会 2日目式典
草の根会 日本交流基金

・現在教員 18名(日本人6名) 13名(日本人1名) 生徒150名

・校舎奥の空き地(23m×23m)駐車場に考えているが資金的に難しい。
1600万Rs

・15年度より予算計上しているが支援実績なし コピー機の所有なく寄贈の

検討要す。(現地業者コピー代理店 P.K.SUWAL 氏を紹介する)

- ・ 2 教室で挨拶(家庭科の科目もあり)
- ・ トリブヴァン大学本校視察
 - ・ キャンパス奥の丘の街 より本校全体像を視察
 - ・ キャンパスセンターにある図書館を視察。専門別に分類された蔵書豊富。閲覧室も広く、貸出制度もあり、タンセン分校とは格段の差。ラマ氏によると国連、ユネスコ等から毎年かなりの支援がある。
- ・ 写真展開催の見込み・場所選定
 - ・ カトマンドゥ パドゥマ・カニヤ校 タンセン ロータリー
- ・ 10 周年記念式典の協議
 - ・ ルンビニ地区合同運動会 会場シリ・シリ・ラム校々庭? 来年 11 月? 運動会の経験はなく簡単なもの 徒競走 ボール投げ 綱引き 玉入れ
 - ・ タンセン、カトマンドゥでは
 - ・ 記念品は欲しい バッチ、シール ネパール民芸品
- ・ ラマ氏の近況と婚儀予定
 - ・
- ・ ラマ氏との定期連絡ルートの開設協議
 - ・ 東京からのメールが入っている事は認識されている。止むを得ぬ場合は日本語学校経由を考える。
- ・ 企画商品調達先の調査
 - ・ カトマンドゥ、タンセンなら可能。サンプルの提供、初期の作業指導と品質チェックがあれば早期立上げ可能。
- ・ ヘリによるエベレストビュー H への調査
 - ・ 五人乗り小型ヘリ 客 4 人 ヘリを待たせてコーヒーで帰還 価格未調査
- ・ ネパール・ミカの会カトマンドゥ口座開設実態調査
 - ・ 大使館紹介の NGO-JICA ジャパン・デスク(ネパール)に面談申入れ快諾。コーディネーター田中さんは川崎出身、町田高校卒 山の関係でネパール人と結婚、20 年在住の闊達な人 今後の相談相手としてベスト。
当会の支援規模(50000US\$)以下の条件
NGO の設立、郡行政局長(CDO)への登録と更新、社会福祉評議会(SWC)から NGO 認可、資金受領許可、ネパール法規の準拠していること。
現地 NGO 法人の構成員 7 名以上
 - ・ SWC の認可はさほど難しくないが、時間が掛かり何度かの督促は必要。ネパールの手法での要求は聞いていない。落成式等では幾ら資金を掛けたか公知して置いた方が後でのトラブルにならない。不正についてマオイストが付け込むこともあり得る。
正規な手続きを踏まずの団体はたくさんあるのが実情。
 - ・ 既に同制度を取得している国内 NPO との交流によりアドバイスを受けて、JAIC 田中さんの協力のもと正規の資格運営に向け来年度を目標に推進する。
 - ・ ラマ氏とは更に更に協議の必要がある。

- ・ 現地サポート体制の検討 ラマ氏のサポート体制
 - ・ カトマンドゥ事務所を構えると幾ら掛かる。
 - 部屋代 2000～3000Rs/月 事務員人件費 5000～6000Rs/月
 - 維持費 500Rs/月 通信費 500Rs/月 雑費 500Rs/月
- ・ ラマさんのサポート役をルンビニに雇えないか？
 - 今回ルンビニで同行したラムネン氏(30才位)を建設期間の6カ月を二分割契約し、携帯電話を預け、ラマ氏がカトマンドゥから指示管理する。
 - 携帯電話機 6000～7000Rs プリペイドカード初回 1800Rs
 - 業務委託料 5000Rs/月 ダサイン手当 1000Rs/年
 - 通話料 300Rs/月 交通費実費
- ・ ラマ氏がルンビニまでバイク移動は治安・安全上危険が多すぎる。バイクの中古購入ルンビニ(例えば法華)に保管、飛行機での往復。中古バイク 120cc で 15万円程度か？

b ルンビニ

- ・ ルンビニ地区教育機関が現状の情勢下での機能状況の調査
 - ・ 教育機関の訪問は無かったが、各校での授業は通常通りに行われている。ラマ氏に寄れば教員の給与全員分は政府から支給されておらず、(これは以前から)不足分を子ども達から集めることはマオイストに禁止されている。
- ・ 各校の生徒数の確認
 - アディアリ、ルンビニ(後日連絡)を除き確認
- ・ シリ・アマリ小学校
 - ・ 外内装仕上げは残っており贈呈式までに完成させる。
 - ・ すでに校舎は使用中 理事長他立会い
 - ・ 贈呈式 11月13日 朝から 先生祝い金 四つ葉会袋 ノート 鉛筆 テニスボール キャンデー
- ・ シリ・マズワニ高校/図書館
 - ・ 一部階段の仕上げ、外内装仕上塗りを残しているが高校らしい風格。元村長、校長等立会い。贈呈式 11月13日 10時 お祝いは？ 納付金 200000Rs のうち現在 150000Rs を確保されている。来年4月開校時は現中学の卒業生を入学させる 50人位か？ 村長談。外壁塗装は中学より格調高い色彩ラマ氏一任。図書保管室窓に図書保護のためガラス戸又は板戸付とする。図書室には什器(本棚、閲覧用椅子、机)を含めて8万円(ソロプチ分充当)。
- ・ マズワニ中学生との懇談会
 - ・ 昼食中に既に学校の終業に気づき、残念ながら実施不可。後日ラマ氏実施。
- ・ マズワニ村コミュニティーセンター
 - ・ 通過のみの視察であるが、ラムネン氏情報では7ヶ月後に運営費が絶える。魚の養殖、はちみつ、野菜作りなどをグループごとの指導がされている模様。また、毎日学校に通えない子ども達や幼児に文字を学ばせている。

- ・ 新設コミュニティーセンター(四つ葉会)
 - ・ 候補地としてマズワニ小学校、シリ・シリ・ラム小学校周辺の打診を考えていたがグルワニマイ小学校に図書室新設に転用はどうか。
- ・ 既支援校の視察
 - ・ グルワニマイ小学校

朝一番の訪問、整列して朝礼。「何か間違いがあったから来ないのか? 悪いことは改善する」と校長。3ヵ月前に図書室を開設したばかりで僅かな書籍が棚に並ぶ。貸出カードによる貸出制度も導入。やれば出来る。生徒数管理表もキチンと壁に張られ他校とは違う。学校理事会で将来の設備増設について討議した記録によると、物置、講堂、ゲート、トイレ、給水装置(タンクと蛇口 5.5万Rs?)、ベンチ75セット、扇風機8台、柵、TV/CD、土地。

現在のポンプ井戸を利用し給水タンクから蛇口のある手洗い台を要望か? 現在扇風機4台の電気代 基本料金160Rs 600Rs/月。さすが涼しい。校庭の隅を箒で掃いている女の子、集めたゴミを燃やす男の子。交代でやっているとのこと。

近くに工場があり、援助も受けている恵まれた環境だが先生方、生徒の質が他と違い、学校全体の姿勢はよい。
 - ・ 四つ葉会資金で図書室

保管庫と閲覧室の2部屋 10m×4m ベランダ付
柵、机、椅子、床マット張り、扇風機、初回図書
予算100万円以内目標
 - ・ 国道から校庭への取り付け路(あぜ道にレンガ)の整備と門柱
- ・ ヤナトラ八小中高
 - ・ 建設支援校舎に屋上に外階段とフェンス設置 理由は冬場の授業???
トタン屋根校舎3教室が老朽化しているので立替えたい。
生徒数が増加しているのので4~50人教室を倍の大きさにしたい。
行政と学校運営には特に問題はない。5人の先生の給与分を生徒一人/月30~50Rs取っているが、教育委員会はいけないと言う。
しかし政府は面倒をみない。???
- ・ シリ・マズワニ小学校

終業で生徒不在 ひび割れはセメントで補修済。 11月迄再塗装
- ・ シリ・ルンビニ小学校

遠望のみ
- ・ シリ・シリ・ラム小学校

終業で生徒不在 中学は供託金の準備できず今だ開校せず。
合同運動会会場に充分
- ・ マホマディア小学校

学校移転に伴い柵は破れ荒廃、校庭に牛、やぎ小屋とか?
移転に際して修復支援主に一言あったのか?

- ・シリ・スンディー小学校
 - 終業で生徒不在
 - 外壁はマオ朱書きと汚れがひどい。ラマ氏も塗り替えを考えていたが朱書きを消すことに躊躇。「何とかしてみる」の一言、意味が深そう。
- ・シリ・アディアリ小学校
 - 訪問せず
- ・学年別生徒数の推移
 - 青沼理事調査 アディアリ、ルンビニ小学校後日ラマ氏より連絡。
- ・マズワニ中学校制服の注文依頼
 - 7年生 59名 新入生 59名分を11月訪問時に間に合わず。
 - 一部デザイン・カラーを変えるかラマ氏一任
- ・建設要請校の視察
 - ・シリ・ジャナシート小学校
 - 昨年中間調査時に要請書提出校 スンディー小学校より南東へ約3Km
 - 生徒数 548名 既存校舎 9.7m×4m 1棟 2教室
 - 建設中断校舎 7m×5m 2教室は教委員会より建設しろとの指示に村で資材調達・建設を開始したが、一向に金が出でこなかったため中断中。
 - 生徒数から5~6教室を要するが土地が狭く、傾斜面。校庭が著しく狭くなるため候補校としては疑問。
 - ・シリ・ヤマデビー小学校
 - 昨年中間調査時に要請書提出校 ルンビニ公園南西2Km アマりに近い
 - 10年前に建てた2教室 校長 マッテリカ・モーリヤ 先生3人
 - 生徒数260人 所在地 ルンビニ地区アダラス村マナウリ部落 7番
 - 敷地は東西約40m 南北約30m 広々と田んぼが開け彼方に雪山を望み
 - 背後は道路を挟んで林。
 - 村の長老曰く「ここは町から外れ人もあまり来てくれない。嬉しい」と子ども達が先生を呼びに飛んでゆき、中学生は「道が悪いですから気を付けお帰り下さい」など・・・明るく感じのいい人達。
 - ひろしま・祈りの石申請候補校 3教室 1職員室 建設費約150万円
 - ラマ氏が再度土地の測定、レイアウト、平面図、側面図、費用算出
- ・普及啓発品のデザイン開発製造先の開発
 - 時間の余裕無く調査できず。ルンビニでは無さそう。

C. タンセン

- ・大学、専門校へのリクエスト図書リスト提出要請
 - ・シリナガル・サイエンス校 校長
 - ミカの会が来ないのでどうなっているのか心配していた。
 - タンセンの中心は問題ないが周辺の村、途中は問題になった。
 - 王政、政府、マオの意見の統一が無い限り見通しは何とも言えぬ。
 - 席に居ては・・・。
 - 母の死去で実家に帰るのにバンダ中でフトワールまで歩いた。

- ・トリヴァン大学文系校
 学長により校舎内案内、大いに役立っている支援発電機の実演。
 建物が分散しており構内連絡が不効率で内線電話を設置したい。
 器具(五万円くらい)のみあれば大学で設置可能。
- ・モホン女子校
 時間外のため校庭のみ
- ・トリヴァン大学理系校
 計測器の通関に大学として便宜が図れないか?
 学長の知人がカトマンドゥの税務の責任者(パルパの人)と親しい。
 計測器のリストを貰えば行って折衝する。大学宛であれば可能と思う。
 輸送方法としロジステック再交渉。
- ・ジャナタ(JVT)小中高校
 ”平和を祈る灯の式典”にて校長から全体集会に臨むよう要請される。
 10+2体制 生徒数 1700名 全体集会で挨拶 図書室・管理者有。
- ・セン小学校
 役所前の広場の一部は軍駐屯地になっているため、学校への道は手前
 から入り可なり傾斜は楽になった。校長は既に昼食懇談会場へ移動の
 ため校庭で戻る。
- ・ホリデー・エディケーション・プログラム
 ラマ氏の情報によると元の場所はマオとの抗争で軍死傷者発生、施設
 使用廃止。20万ルピー借り入れシリナガルHの近くに校舎移転。
 生徒30人 教員3人。教員給与に苦慮。建物入り口扉を付けたい。
- ・現状における図書支援の支給方法
 図書現物をカトマンドゥから輸送は可能。今回から直接学校へ直送。
 合同図書贈呈式は11月、トリヴァン大学講堂にて目録で寄贈式。
 予算(什器・設備込み) 60万円
 内線電話 5万円
 パソコン(パドゥマ・カニヤ)10万円 日本語学校 コピー
 図書 45万円
- ・学校関係者との情報交換
 - ・ナグロレストランにて昼食懇談会 計14名 ノンアルコール
 - トリヴァン大学学長 教授4人 寮管理者(日本語?)
 - ミレニアム・サイエンス理事長(元トリヴァン大学学長) 他
 - スリナガル・サイエンス校長代行
 - セン小学校新校長
 - モホン女子校校長? 女性
 - JVT 校長 計14名
 席上、各校より希望図書リストのラマ氏提出要請。
 各校より支援への謝辞。交流・交友が一番の支援。大学で日本語学科
 設立の要請もある。

- ・その他

- ・街を歩くと一年半振りと言う。ミカの会が来ていると広まる。
行けぬときは各校に文通による交流が必要。
- ・ソナムがローカルテレビ局のカメラマン 日本紹介 CD
- ・シリナガル H の塔の 3F ローカルラジオ局 11 月対談申し入れ
日本の唱歌、演歌 CD 寄贈約束、放送要請